

2021年度 国立音楽大学附属高等学校普通科 ガイド

1. 本校について

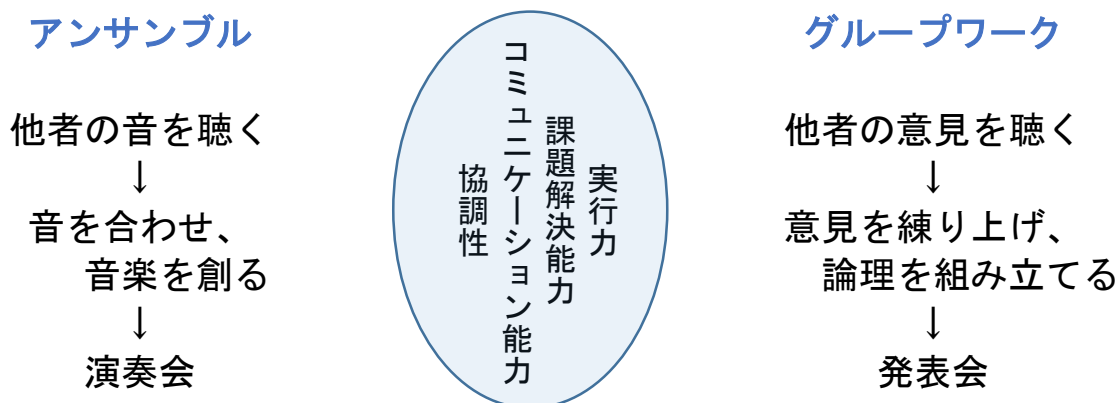
1949年国立音楽大学附属音楽高等学校音楽科が創立され、1963年には女子校として普通科が併設されました。「自由・自主・自律」を重んじ、良識ある社会人の育成を目指した普通科は、音楽大学への推薦があり8割近くが音大へ進学していましたが、2004年にそれまでの教育方針に加え、一般大学への進学にも焦点を当てた教育を目指し共学の普通科へと改革が行われました。これが現在の普通科となっています。また、本校は「国音、くにおん、KUNION」の愛称でも親しまれています。

そして創立時から「自由」が教育方針のキーワードとなっており、あらゆる活動の中でその精神を感じることが出来ます。生徒たちはそうした校風の中で自らを律し、自由の意味を考えながら、のびのびと大らかに学園生活を送っています。また「個を尊重する」という意識が、本校の教育の根底にあります。教員は一人ひとりの個性を尊重し、個々の能力を伸ばし、それぞれの希望に繋がるように、授業や進学ガイダンスなどの様々な行事の中で、丁寧にサポートしています。それぞれの個性と能力に応じた、細やかな指導を心がけるようにしています。

他者を尊重した上での自由 自分で考え、行動できる自主・自律

また、KUNIONは「アンサンブルのくにたち」という評価をいただいています。これはアンサンブルが上手という意味だけではなく、生徒・学生と教職員が一緒になって音楽を創るという意味も込められています。生徒と教員が「一緒に音楽を学ぶ」という姿勢や、音楽を通しての対話をとても大切にしているのです。まさに「ワンチーム」です。これからの社会は協調性、主体性、コミュニケーション能力などが求められます。「アンサンブルのくにたち」では、高校普通科もこれらの力の習得を重視しています。アンサンブルは一人ひとりの個性を尊重しつつ、更により良いものを創り上げ、一つの音にまとめ上げて表現していくものです。それには協調性、コミュニケーションが大切です。

社会のニーズに応えうる力の育成 ～アンサンブルのくにたち～



これからの世の中はすべてのことを一人でこなすスーパーマンを求める時代ではなく、得意な部分を持った人々がチームになって一つの問題を解決していく時代です。ぜひ、KUNIONで異なった感性をもった素晴らしい友人と出逢い、協調性や主体性、継続力などを身につけ、自分の望む進路を実現させてほしいと願っています。

2. 時程

・KUNIONは1年間を2つに分ける二期制の学校です。前期・後期それぞれに中間試験と期末試験を行います。



また、週5日制の学校ですが、特別進学コースの生徒は月に3回程度、土曜日に特進講習を行います。総合進学コースの生徒も博物館等を訪れる土曜探究が開催されることがあるほか、学校行事が土曜日に入ることもあります。

- ・普通科の生徒の登校時間は午前7時50分から午前8時35分までの間となっています。8時35分からの10分間は読書や学習に取り組む時間で、この時間が学校での1日を始めるために気持ちを整える時間にもなっています。また、最終下校は午後6時15分です。

朝読書/朝学習	8:35 ~ 8:45
第1時限	8:50 ~ 9:40
第2時限	9:50 ~ 10:40
第3時限	10:50 ~ 11:40
第4時限	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25
第5時限	13:25 ~ 14:15
第6時限	14:25 ~ 15:15
第7時限	15:25 ~ 16:15

3. カリキュラムと時間割

(1) カリキュラム (カリキュラムは変更する場合があります)

総合進学コース

1年	必修	現代の国語(2)・言語文化(3)・地理総合(2)・歴史総合(2)・数学I(3)・数学A(2)・化学基礎(2)・生物基礎(2)・体育(2)・保健(1)・英語コミュニケーション(4)・論理・表現I(3)・情報I(1)・総合(2)・HR(1)	32単位	選択	音楽I(2)・美術I(2)・書道I(2)
2年	必修	論理国語(2)・公共(2)・物理基礎(2)・体育(2)・保健(1)・英語コミュニケーションII(4)・論理・表現II(3)・家庭基礎(2)・情報I(1)・総合(1)・HR(1)	21単位	選択	古典探究(3)・世界史探究(4)・日本史探究(4)・数学II(4)・数学B(2)・化学I(2)・生物I(2)・ソルフェージュI(2)・合唱(2)・英語演習I(2)・ドイツ語I(1)・イタリア語I(1)
3年	必修	論理国語(2)・体育(3)・英語コミュニケーションIII(4)・論理・表現III(3)・HR(1)	13単位	選択	現代文演習(2)・古文演習(2)・漢文演習(2)・表現(2)・世界史演習(4)・日本史演習(4)・歴史探究(1)・政治・経済(3)・数学III(3)・数学C(2)・数学IA演習(2)・数学IIB演習(2)・数学IIIC演習(2)・物理(6)・化学II(4)・生物II(4)・物理基礎演習(2)・化学基礎演習(2)・生物基礎演習(2)・ソルフェージュII(2)・音楽基礎(1)・英語演習II(2)・ドイツ語I(1)・ドイツ語II(1)・イタリア語I(1)・イタリア語II(2)・選択情報(2)

- ・内部推薦で国立音楽大学へ進学するためには「ソルフェージュI」及び「ソルフェージュII」の授業を受ける必要があります。

特別進学コース

1年	必修	現代の国語(2)・言語文化(3)・地理総合(2)・歴史総合(2)・数学I(3)・数学A(2)・化学基礎(2)・生物基礎(2)・体育(2)・保健(1)・英語コミュニケーション(4)・論理・表現I(3)・情報I(1)・総合(2)・HR(1)	32単位	選択	音楽I(2)・美術I(2)・書道I(2)
2年	必修	論理国語(2)・公共(2)・数学II(4)・物理基礎(2)・体育(2)・保健(1)・英語コミュニケーションII(4)・論理・表現II(3)・家庭基礎(2)・情報I(1)・総合(1)・HR(1)	25単位	選択	古典探究(3)・世界史探究(4)・日本史探究(4)・地理探究(3)・数学B(2)・化学I(2)・生物I(2)・合唱(2)・英語演習I(2)
3年	必修	論理国語(2)・体育(3)・英語コミュニケーションIII(4)・論理・表現III(3)・HR(1)	13単位	選択	現代文演習(2)・古文演習(2)・漢文演習(2)・表現(2)・世界史演習(4)・日本史演習(4)・歴史探究(1)・政治・経済(3)・数学III(3)・数学C(2)・数学IA演習(2)・数学IIB演習(2)・数学IIIC演習(2)・物理(6)・化学II(4)・生物II(4)・物理基礎演習(2)・化学基礎演習(2)・生物基礎演習(2)・英語演習II(2)・選択情報(2)

(2) 時間割例 (2021年度)

2、3年次には選択科目によって「空き時間」があります。この時間は「自律学習の時間」として、授業の復習や宿題を解く(アウトプット)時間として活用しています。学習内容は自分自身で決めるので、自ら学ぶ力も身につきます。

1年(特進)

	月	火	水	木	金
1	体育	日本史	物理基礎	物理基礎	古典
2	保健	数学I	数学I	コミ英語I	世界史
3	化学基礎	化学基礎	古典	数学A	英語表現I
4	英会話	コミ英語I	体育	数学I	生物基礎
昼休み					
5	生物基礎	音楽	現代文	英語表現I	コミ英語I
6	現代文		日本史	体育	数学A
7	コミ英語I			世界史	HR

2年(総進・文系志望)

	月	火	水	木	金
1	コミ英語II	世界史	コミ英語II	家庭基礎	
2	古典		世界史		英語演習I
3	英会話	コミ英語II	英語表現II	古典	英語表現II
4	体育		体育	現代社会	現代社会
昼休み					
5	保健	現代文		コミ英語II	世界史
6	合唱	古典	社会と情報	英語演習I	現代文
7					HR

3年(特進・理系志望)

	月	火	水	木	金
1	数学III	数学III	化学	化学	数学III
2	数学III	化学基礎演習	英語演習II		化学
3	英語表現II	化学基礎演習	英語演習II		化学
4	現代文	理系数学	コミ英語III	コミ英語III	理系数学
昼休み					
5	コミ英語III	英語表現II	体育	数学III	体育
6			現代文		コミ英語III
7					HR

3年(総進・音大志望)

	月	火	水	木	金
1	表現	ソルフェージュII	現代文演習		情報の科学
2			英語表現III	英語演習II	情報の科学
3	現代文		ソルフェージュII	英語演習II	音楽基礎
4	コミ英語III		コミ英語III	現代文演習	英語表現III
昼休み					
5	体育	【音大聴講】 ボビュラー 音楽研究		現代文	コミ英語III
6			体育		コミ英語III
7					HR

4. 総合進学コースの特徴

総合進学コースは、大学受験において学校推薦型選抜・総合型選抜など、一般選抜以外の入試方法にも対応できる力を身につけることを目指すコースです。国立音楽大学への内部推薦制度もあります。

様々な進路を目指す生徒が共に切磋琢磨し合い、自らのアピールポイントを増やしていけるクラス編成・カリキュラムが魅力です。

(1) 進学方法

2021年度入試から大学入試は大きく変わりました。一般入試が一般選抜に、推薦入試は学校推薦型選抜に、A0入試は総合型選抜にそれぞれ名称が変更されました。そして、すべての入試方法で「知識・技能の確実な習得」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の「学力の3要素」をより重視する方向へ変わりました。総合進学コースでは、「知識・技能」はもちろんですが、「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を育てるために、探究活動を行っています。探究活動を行っているのは、特別進学コースにはない特徴です。

① 学校推薦型選抜

その大学を目指す強い意志・意欲があり、大学での学びに積極的に取り組むことのできる生徒を推薦しています。成績の基準を満たしていることはもちろん、生活態度や積極性なども重視します。

② 総合型選抜

その大学のアドミッションポリシーを深く理解し、大学が求める学生像と合っているということをPRできるように、面接や論文の練習に取り組めます。少人数だからこそ、じっくりと練習に取り組むことができます。

(2) 多彩な進路

総合進学コースには、文系・理系だけでなく、様々な進路を希望する生徒が集まっています。国立音楽大学への内部推薦を希望する生徒はもちろん、芸術方面を希望する生徒、また文系・理系に関係なく、大学で何を学びたいかが具体的に決まっています。学校推薦型選抜や総合型選抜に向けてコツコツと準備を進めている生徒もいます。実際の進路先を見ても、分野は実に多様です。このように、様々な進路希望を持つ生徒が集まり、お互いに刺激し合う環境が総合進学コースにはあります。また、多彩な進路希望に応えるため、選択授業が豊富であることが総合進学コースの特徴の一つとなっています。

(3) 豊富な選択授業

特別進学コースにはない、多彩な選択授業があります。代表的なものとして、「ソルフェージュ」、「ドイツ語」、「イタリア語」の授業を紹介します。

①ソルフェージュ

2年で選択できる「ソルフェージュⅠ」と、3年で選択できる「ソルフェージュⅡ」の授業があります。この2つを履修していることが、国立音楽大学への内部推薦のための条件の一つとなっています。

「ソルフェージュⅠ」「ソルフェージュⅡ」共に、音楽の基礎となる楽典の基礎知識をしっかりと学びます。さらに、聴音や視唱の基礎的な訓練も行い、その上で読譜力、聴音能力の向上を目指して訓練を繰り返していきます。教材や作品の分析を通して、和音の機能と音楽の構造を理解し、楽譜をより深く読み取る力を身につけます。

②ドイツ語

2・3年で選択できる「ドイツ語Ⅰ」と、「ドイツ語Ⅰ」を終えた生徒が履修できる「ドイツ語Ⅱ」の授業があります。

「ドイツ語Ⅰ」では、ペアワークやグループワークを通じて、基本的な表現や初級文法を身につけます。また、ドイツ語の童謡や歌に触れながらドイツ語の音に慣れ、簡単なドイツ語で自己表現できることを目指します。

「ドイツ語Ⅱ」では、引き続き初級文法を扱いながら、簡単なテキストを読み、ドイツ語での短い作文ができるようになることを目指します。また、会話練習やリスニングにも取り組みます。ドイツ語圏の文化事情に関する知識を得ることもできます。

③イタリア語

2・3年で選択できる「イタリア語Ⅰ」と、「イタリア語Ⅰ」を終えた生徒が履修できる「イタリア語Ⅱ」の授業があります。

「イタリア語Ⅰ」では、イタリア語会話を題材にしながら、よく用いる表現と初級文法を学びます。まずアルファベットから始めて、しっかりとイタリア語を読み、発音できるように学習していきます。そして、短い会話をもとに、動詞の活用の初歩を学びます。ゲームも取り入れながら、会話の練習や読解をし、イタリア語を実践的に習得できるようになることを目指します。

「イタリア語Ⅱ」では、「イタリア語Ⅰ」で学んだ動詞をおさらいした後、さらに動詞の活用を中心に学んでいきます。会話練習を多く行い、基本的な事柄をイタリア語で表現できるようになることを目指します。

(4) 総合的な探究の時間と土曜探究

①総合的な探究の時間

社会で活躍するために必要な思考力やコミュニケーション力を高めるために実施しています。情報収集の仕方、発表の仕方などを学びます。2019年度は「経済」「医療」「芸術」をテーマに学習しました。

②土曜探究

平日にはなかなかできない校外学習を行っています。いくつかの行き先の中から、興味に合ったものを生徒自身が選んで参加しています。教室を飛び出し見聞を広めることで、普段の学習への理解をより深め、興味を広げていきます。また、事後レポートを課し、自分の経験を振り返ってまとめることで、「思考力・判断力・表現力」を高めます。

【2019年度実施例】

早稲田大学演劇博物館

国立科学博物館

江戸東京たてもの園

5. 特別進学コースの特徴

(1) 目指す大学

特別進学コース（特進コース）は、国公立大学や早慶上理・GMARCH などの難関上位私立大学への進学を目指す生徒のためのコースです。したがって、授業もそれに見合った内容のものが用意されています。総進コースよりも必修科目が多く、総進コースと同じ科目の授業でも、そのスピードが若干速かったり、より深い内容まで扱ったりすることもあります。

(2) 特進講習

特進コースの大きな特徴は、月3回程度土曜日に行われる特進講習です。その内容は受験を意識した主要3教科国語・英語・数学の特別授業と学習コーチングです。特に生徒の自律した学習を促すための学習コーチングは、一人ひとりの学習状況を確認・修正しながら効率のよい勉強方法をマンツーマンで指導するもので、着実に実力を伸ばすためにはとても大切です。また、この特進講習は夏期・冬期・春期の長期休暇中にも集中して行われます（夏期9日、冬期6日・春期3日）。

(3) 進学方法

特進コースでは、目標とする大学に一般受験でチャレンジする生徒が多いですが、中には総合型選抜（A0入試）や学校推薦型選抜のうちの公募推薦を利用する生徒もいます。（指定校推薦は、総進コースの生徒が優先されます。）

6. 普通科の教育システム

(1) 少人数授業

2021年度、高校普通科の1クラスは10名～27名です。クラスの授業も少人数制ですが、2年生からの選択授業では、さらに人数が少なくなります。例えば、2021年度の2年生の日本史Bの履修者は21名、3年生の化学の履修者は4名です。少人数の授業では、各自が志望する大学入試に合わせた授業や演習を行うことができ、効率よく効果的に学習することができます。

(2) 探究活動

自主性・協調性・課題発見力・情報収集力・分析力・表現力・振り返り力の向上のため、本校では探究活動にも力を入れています。

① TOKYO GLOBAL GATEWAY

普通科1・2年生を対象に学校行事の一環としてTOKYO GLOBAL GATEWAYでの語学体験を実施しています。空港やホテルでの会話やニュース番組の製作体験、またSDGsの課題について考察するなど、多彩なプログラムを体験することで、英語「で」やりとりする力を育てます。

② 総合進学コース1年「総合的な探究の時間」

週に1回、授業内に「探究活動の時間」を設け、情報収集の仕方、発表の仕方などを学びます。2019年度は「経済」「医療」「芸術」をテーマに学習しました。

③ 春の特別授業1年「探究活動」

総合進学コースと特別進学コースは共に、3月の春の特別授業にて、課題解決型の探究活動を行います。2018年度は「私たちが就職するときに生まれている新しい職業」について、調べ、考察し、発表を行いました。

(3) NOLTY スコラ手帳

2019年度より生徒手帳を「NOLTY スコラ手帳」に変更し、「自由・自主・自律」の精神のもと、スケジュールを生徒たち自身で立て、実行する仕組みがあります。また振り返りや対策を考えるツールとしても使っています。

(4) スタディサプリ

本校では2通りの使い方をしています。1つ目は教員から出される課題です。単元ごとに出題する教科や、定期試験に向けて出題する教科もあります。2つ目は自習としての利用です。スタディサプリは中学校の内容から大学受験、資格試験対策など様々な学習動画があります。自主的にそれらを利用して学習を深めている生徒が多いです。

(5) 英会話

本校では、英語によるコミュニケーションを楽しめる生徒を育てるために授業をはじめ校外でも英語を使用する機会を多く設けております。

普通科では英語の4技能をバランス良く身に付けることを目標とし、スピーキング力の強化を図るために、フィリピン人の講師によるオンライン英会話を実施しています。生徒一人ひとりが自分のレベルに合わせた教材を選択し、講師と一緒に実力アップに努めています。

(6) 自律学習の時間

2・3年生は選択授業が多く、履修の仕方によっては「空き時間」ができます。その空き時間を「自律学習の時間」として、授業で課された課題や宿題、小テストのための学習をはじめ、アウトプットする時間と位置付けています。アウトプット以外にもスタディサプリの視聴、図書館での資料探しなど、やるべきことを生徒自身が考え、実践しています。生徒によっては、先生へ質問をしたり、入試に向けて面接練習や小論文の添削などを受けていたりしています。

(7) 多彩な講習

①レベルアップ講習は、7時間目終了後の16:30~17:30の放課後を中心に弱点補強や英検対策・入試対策のために行っています。コースや学年を問わず受講可能で、1コマごとに受講できます。

②夏期・冬期講習は、夏休みおよび冬休みに大学入試に照準を合わせた英語・国語・数学・理科・社会の集中講習です。

③春の特別授業は、3月の特別授業期間に行う新年度の先取り授業です。1年生は探究活動も合わせて行います。

④土曜探究は、月に1回程度実施している校外での学習活動です。2019年度は「早稲田大学演劇博物館と早稲田大学見学」「国立科学博物館」「江戸東京たてもの園」の3コースを用意し、希望の場所へ見学に行きました。

(8) 海外研修

本校では2018年度より、異文化体験やコミュニケーションスキルアップを目的とした希望者対象の海外研修を実施しています。2018年度はニュージーランド、2019年度はカナダへの短期研修を行いました。2019年8月に行った1か月間のカナダ語学研修では、語学学校での研修やホームステイ、キャンプや現地の方々へのインタビュー企画など充実した時間を過ごしました。英語でコミュニケーションが取れた喜びや、異なる文化を受け入れる経験を通して大きく成長しました。

2021年度は夏休みに、国内の留学生と校内で対面による短期文化交流を行う予定です。今後もより充実した海外研修プログラムを提供していく予定です。

(9) 留学例

<2016年度>

在学中に高校3年9月から翌年6月までイタリアに留学をしていました。現地校での成績を本校での卒業単位として認定しました。

7. 進路指導

(1) 大学見学

キャリアデザインの一環として、2019年度は4/26に国立音楽大学、6/3に中央大学と成蹊大学、7/25に横浜薬科大学に1年生が訪問し、模擬講義や体験授業を受けました。

(2) 卒業生講演会

全学年対象の進路行事として、卒業生によるキャリア講演会を本校スタジオにて実施し、2019年度はアメリカを拠点に活動している音楽家、イタリアでヴァイオリン制作を勉強中の大学生に講演をしてもらいました。

(3) 進路ガイダンス

2019年度は、6月に本校にて「進路ガイダンス(大学相談会)」を実施し、国立音楽大学をはじめ、東京



外国語大学、東京学芸大学、都留文科大学、東京薬科大学、日本女子大学、成蹊大学、成城大学、専修大学、駒澤大学、武蔵大学、横浜薬科大学、東京工科大学、明星大学、東京医療保健大学、神田外語大学、淑徳大学、女子美術大学の先生方にお越しいただき、それぞれの大学の説明をしていただきました。11 月にも本校にて「進路ガイダンス（大学模擬授業）」を実施し、国立音楽大学、拓殖大学、文教大学、駿河台大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学、東京医療保健大学、埼玉医科大学 保健医療学部、神奈川工科大学の先生方に模擬授業をしていただきました。

※次のページに合格実績を掲載しています。

8. 感性と知性を育む教育

(1) 芸術鑑賞

本校普通科は、目標とする大学に合格するための学力を身につけるだけでなく、音楽に興味を持っている生徒も多いことから豊かな感性を育む人間教育にも力を入れています。

校外学習として年に1・2度芸術鑑賞があり、ミュージカルやオペラ、オーケストラなどを鑑賞したり、年によっては本校講堂で演劇を観たりする場合もあります。また、国立音楽大学を中心とした各種音楽会を鑑賞する機会も多くあります。

(2) 旅行

旅行は、1年生の秋に行われる2泊3日の東北旅行と、2年生の3月に行われる3泊4日の沖縄修学旅行があります。これらの旅行も生徒数が少ないことを生かし、体験学習を多く取り入れ、現地の方々との交流ができるような本校独自の充実した内容を企画しています。

(3) 朝読書

普通科では、目標とする大学を受験するための学力を身につけるだけでなく、様々な分野への興味・関心を持ってもらいたいと考えています。そこで、1時間目が始まる前の10分間を利用して、朝読書や天声人語の書き写しなどを行っています。この時間は科目「総合の探究の時間」にも含まれ、集中力を高め1時間目の授業にスムーズに入ることに役立っています。

(4) 面談

充実した高校生活を送るためには、勉強の目標や自分の進路希望を明確にしていくことが重要です。そのため入学時より始まる進路指導にも力を入れており、各学年の適切な時期に大学見学や講演会、各種進路ガイダンスなどを行っています。また、年度初めや次年度の選択履修科目を決める11月など年間複数回の生徒面談があり、学年協議会（保護者会）や夏休みには保護者面談も実施しています。

9. 学校生活

(1) 携帯電話・スマートフォンに関するルール

本校では、学校内での携帯電話・スマートフォンの使用を禁止しています。学校に入る前に電源を切り、施錠ができる個人ロッカーにて各自で保管するルールになっています。保護者の方から生徒本人へ緊急に連絡がある場合には、学校へご連絡いただくようお願いしています。

(2) ご家庭との連絡

保護者・生徒の皆様へ学校生活の中で緊急を要する事項について、迅速かつ正確に連絡するために緊急時のメール配信を導入しています。1家庭で3件までのメールアドレスを登録することができます。通信にかかわるセキュリティは、世界的に信頼のある、デジサート（旧ベリサイン）のSSLを利用しています。

【緊急時にメール配信する事項】

- ・学校行事における雨天中止や延期、時程変更等
- ・天災、交通災害、伝染性の疾患等による臨時休校、生徒を学校に留め置く場合等
- ・緊急を要する不審者情報
- ・その他

(3) 学校安全について

生徒たちが安心して学校生活を送るために、本校では安全対策を強化しています。

- ① 警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。また、保護者の皆様が校内にいらっしゃる場合には、保護者証の着用をお願いしております。
- ② 校内にはAED（自動体外式除細動器）を3台設置し、不慮の事故にも備えています。また、教職員を対象にAED講習・救命救急講習を定期的に行っています。
- ③ 全ての校舎で最新の耐震基準をクリアしています。
- ④ 非常時のために、全生徒分の非常食・飲料水・非常用生活用品を備蓄しています。
- ⑤ 大地震などの災害が発生した際には、私立学校の被災状況や生徒の安否情報を、ラジオで放送することになっています。パソコンやスマートフォンでも聴くことができます（ニッポン放送 AM1242/FM93）。
- ⑥ 東京の私立学校間では、登下校時の緊急避難校ネットワークがあります。登下校の時間帯に震災等が発生



し、交通機関がストップして学校や自宅にたどり着けなくなった場合、近くの私立小中高校に避難することができます。水や食料・トイレなどを提供するほか、専用の Web システムを使い、学校間で生徒の所在を伝達し合うことができます。電話がつながりにくい状況でも安心です。

- ⑦ 学校管理下における生徒の怪我や病気に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済契約を結んでいます。

(4) 昼食

本校には学食はありませんが、お弁当を持参するほか、登校時に購入したり、学内の売店で購入したりする生徒もいます。学内の売店では、パンやおにぎりなどの軽食を購入することができます。また、事前注文が必要となりますが、お弁当を購入することもできます。お弁当は数種類の中から選ぶことができ、日替わりのお弁当もあります。注文したお弁当は、昼休みにホールで受け取るすることができます。数に限りはありますが、当日現金でお弁当等を購入することもできます。

(5) クラブ活動

クラブ活動への入部は強制ではありません。生徒の個性に応じた活動を通じて自主的精神を養い、学校生活の充実向上をはかることを目的として行っています。

文化系：合唱部☆・吹奏楽部・JAZZ 部・オーケストラ部☆・演劇部

運動系：ダンス部・硬式テニス部・バスケットボール部☆・バドミントン部◎・バレーボール部

同好会：卓球同好会・フットサル同好会

☆：音楽科と合同で活動している部活 ◎：中学・音楽科と合同で活動している部活

(6) カウンセラー

本校には、臨床心理士・公認心理師の資格を持つ専任のスクールカウンセラーがおり、平日は毎日相談できる相談体制を整えています。生徒・保護者の方のご相談のみならず、教員と連携しながら、問題が深刻化する前の予防的対応にも力を入れています。豊かな心の醸成に貢献できるよう、自他の感情を深く理解し、共感性や表現力を高め、周囲との調和（アンサンブル）を実現できるよう、カウンセリング活動を行っています。

(7) アフタースクール

実技レッスンを希望する高校普通科の生徒、およびコースや専攻を変えて引き続き本校・本学で学ぶことを希望する中学校・高校音楽科生徒を対象に、課外でレッスンを行う制度です。指導には本校レッスン教員、経験豊富な本校推薦講師があたり、個々の生徒の特質や希望にそって良質で効率的なレッスンを実施します。

<対象>

中学

- ・文理コースの生徒で、音楽コースへの変更を希望する生徒
- ・音楽コースの生徒で、主楽器の変更を希望する生徒

高校普通科

- ・国立音楽大学音楽文化教育学科（音楽文化教育専攻の各専修、幼児音楽教育専攻）および演奏・創作学科（コンピュータ音楽専修）に内部推薦で進学を希望する生徒を主とします。

高校音楽科

- ・専攻の変更を希望する生徒

<指導スタッフ>

- ・本校レッスン教員または本校が推薦する講師

<普通科生徒への内容>

- ・ピアノ、声楽
- ・25分または50分の個人レッスンで、月に2~3回（年間28回）
- ・平日放課後または土曜日に実施

<料金>

- ・25分の場合 月額¥4,200
- ・50分の場合 月額¥8,400

10. 2022年度 生徒募集要項 抜粋

推薦入試

- (1) 募集人員 約30名(第1学年 男女 特別進学・総合進学コース A・B推薦合わせて)
- (2) 出願資格 A推薦(単願) : 2022年3月に中学校卒業見込みで、本校を第一志望とし、合格後本校に必ず入学する者。
 B推薦(併願、東京都・神奈川県を除いた中学校の出身者) : 2022年3月に中学校卒業見込みの者。
- (3) 推薦基準 【特別進学コース】
 A推薦 : 3教科合計13以上または5教科合計21以上
 B推薦 : 3教科合計13以上または5教科合計22以上
 【総合進学コース】
 A推薦 : 5教科合計18以上または9教科合計33以上
 B推薦 : 5教科合計20以上または9教科合計36以上
 どちらも1がないこと、欠席・遅刻・早退が多くないこと

【加点制度】

特別進学コース(5教科基準のみに適用)
 英検、漢検、数検の検定試験準2級以上、3年間皆勤で各1ポイント(加点は1点のみ)

総合進学コース(5・9教科基準どちらにも適用)
 英検、漢検、数検の検定試験準2級以上で各2点、3級で各1点、生徒会役員、部長で各1点、3年間皆勤で2点、3年間で欠席・遅刻・早退の全体合計が5回以内で1点、部活動や各種コンクールなどにおける優秀な成績(要相談)で1点(加点は最大2点まで)

一般入試

- (4) 募集人員 約30名(第1学年 男女 特別進学・総合進学コース合わせて)
- (5) 出願資格 2022年3月に中学校卒業見込みの者を主とします。
 このうち本校が定める基準に達している者は、併願優遇制度(公立高校および私立高校との併願可)を利用することができます。

【優遇制度】

第一志望優遇制度 : 第一志望届提出。当日の試験(3教科合計)に30点加点
 併願優遇制度 : B推薦と同じ内申の基準以上で利用可。加点制度・入学手続きはB推薦と同じ

(6) 出願手続

	推薦入試	一般入試		
		第1回	第2回	第3回
入学試験日	1/22(土)	2/10(木)	2/13(日)	2/18(金)
出願受付	1/15(土)~1/16(日)	1/25(火)~2/4(金)	1/25(火)~2/12(土)	1/25(火)~2/17(木)
出願書類	志願票、推薦書、調査書	志願票、調査書、 第一志望届[総合進学コースを第一志望とする者のみ]		
入学検定料	21,000円			

(7) 入学試験

	推薦入試	一般入試		
		第1回	第2回	第3回
入学試験日	1/22(土)	2/10(木)	2/13(日)	2/18(金)
受付	8:00までは校舎内に入ることできません。8:40までに受付を済ませてください			
試験科目	作文(テーマは当日発表、600以上800字以内、50分間、2020年のテーマは「伝える」) 面接[受験生のみ10分程度]	国語・英語・数学 面接[受験生のみ5分程度]		



試験時間	説明 8:50~9:00、 作文 9:00~9:50、 面接 10:00~	説明 8:50~9:00、 国語 9:00~9:50、英語 10:00~10:50、 数学 11:00~11:50、面接 12:05~		
合格発表	1/23(日)11:00	2/10(木)18:30	2/13(日)16:30	2/18(金)16:30
入学手続	1/24(月)17:00 まで	2/14(月)17:00 まで	2/14(月)17:00 まで	2/21(月)17:00 まで
	※B 推薦および併願優遇制度利用者：公立高校一般入試合格発表の翌日まで（土曜日・日曜日を除く）			

11. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

(1) 健康観察

生徒及びすべての教職員は平日の朝 8 時 30 分までに jmobile を使用し朝の検温結果を送信します。毎日の結果をデータで管理をし、体調に変化がないか観察しています。また、登校し校内に入る前にも非接触型の機械で検温をしています。学校生活の中でも生徒の様子に目を向け、体調の変化がみられる場合は養護教諭と連携し、素早く対応ができるように心がけています。

(2) 消毒

昇降口や各教室前をはじめ、校内に約 80 箇所の消毒液を設置しています。HR 教室は放課後に毎日机や椅子、手すりやドアなど生徒が触れる場所を教員で消毒しています。移動教室では授業後に生徒自身で使用したものを消毒しています。直接消毒ができない備品を使用する時には、使用前後に手洗いと手指消毒をしています。また、階段やお手洗いなどの共用部は用務員が毎日清掃と消毒を行っています。

(3) 換気

密閉した空間を作らないように教室のドアを開けたり、外に続く窓を開けたりして空気を入れ替えています。外の空気が入って室温が変化しやすい環境の中でも、エアコンを活用して熱中症などに気を付けています。レッスン室のように一定時間扉を閉じる場所では、機械により常時換気をし、休み時間毎に扉を全開にして空気を入れ替えています。

(4) 飲食

昼食は教室内で全員同じ方を向き、黙食しています。マスクを外す時間が長くなる昼食時は各クラス教員が立ち会い、感染リスクを高めないように指導しています。水分補給の機会が増える体育の授業では、マスクを外すときには周りとは十分に距離をとり、会話をしないように声掛けをしています。

(5) マスクの着用

基本的にはマスクを着用し学校生活を送っています。マスク着用が困難になる管楽器や声楽のレッスンでは、指導者と生徒の間にパーティションを設置しています。

(6) 時短・オンライン授業

感染状況に応じて時短やオンラインで授業を進めています。初めての緊急事態宣言中の 4~5 月には各家庭に教科書と課題の発送、電話で生活の様子や健康観察を行い、6 月には分散登校と HR を実施し、7 月からは時短授業で学習を進めてきました。オンラインを活用し始めた頃は HR での使い方を練習し、少し慣れてきた頃からは教科の授業を行いました。慣れないパソコン画面での作業になるため、生徒の身体に負担がかからないよう、授業時間や方法を工夫しました。現在は、生徒個人の Google アカウントを取得し、Google Classroom や Google Meet を中心に活用しています。課題や授業動画の配信といった教員から生徒へ向けた内容だけではなく、生徒が課題を提出したり双方向授業をしたり、学年や教科ごとに合わせて使用しています。（2022 年度入学者から学校で iPad を貸与予定です。入学後に使用方法について指導していきますので、ご安心ください）。

時短授業は 1 日のコマ数は変えずにコマ時間を短縮して行います。また、部活動は週 2 日 1 時間ずつに減らしていますが、状況に応じて活動を停止させています。